

YCU 長期留学プログラム 派遣学生報告書

氏 名	TC	学部・学科	国際商学部・国際商学科
学 年	4	派遣国	オーストリア
派遣大学	ウィーン大学		
期 間	2024 年 9 月 18 日～ 2025 年 6 月 30 日		

【生活編】

1. 滞在先

滞在形態	学内の学生寮 / <u>学外の学生寮</u> / アパート / その他 ()					
部屋	<u>個室</u> / 2人部屋 / 3人部屋 / その他 ()					
設備	*共同=◎ 部屋にあるもの=○					
	トイレ	○	シャワー	○	洗面所	○
	キッチン	◎	冷暖房	○	冷蔵庫	◎
滞在費	約 (7万5千) 円 *1ヶ月あたりの寮費や家賃					
移動	(ترام) で、約 (15) 分 *大学までの所要時間と移動方法					

転居した場合は、上記表をコピーして滞在先2の内容を追加してください。

2. 日常生活

(1) 1ヶ月の生活費

項 目	金 額	内 訳
食費	50000 円	
学用品購入費	0 円	
交通費	2500 円	
交際費	30000 円	
その他	70000 円	旅行代

合計

152500 円

*概算で記録してください。

(2) 治安状況・危険地域など

安全なまちです。すりにはあいませんでした。夜の独り歩きには気をつけていました（実際にした所で、特に危険な目には遭いませんでした。）

3. 海外旅行損害保険について

保険の名称	学研災付帯海学 / その他 ()		
加入期間	(1 2) ヶ月間	保険料	() 円

現地の国／大学指定の保険に加入した場合は、下記も記入してください。

保険の名称	CARECONCEPT		
加入期間	(10) ヶ月間	保険料	(15 万) 円

4. 滞在都市についての情報

滞在都市／町（ **ウィーン** ）

空港が近く（一時間以内）にあるので、旅行には便利です。交通の便が非常に良く、どこにでも行きやすいです。学生は学生定期のようなもの（セメスターチケット）があるので、半年に一回購入すれば、ウィーンの中を乗り放題できます。

【学業編】

1. 大学情報

大学	ウィーン	所在地	Schottentor 駅
最寄空港	ウィーン国際空港	空港からの距離	4 5 分
空港⇄大学	(sban、u 2) *移動手段		
学生数	約 85,000～95,000 人	留学生数	約 25,000～30,000 人
学部	● Faculty of Catholic Theology ▪ Faculty of Protestant Theology ● Faculty of Law ● Faculty of Business, Economics and Statistics ● Faculty of Computer Science ● Faculty of Historical and Cultural Studies ● Faculty of Philological and Cultural Studies ● Faculty of Philosophy and Education ● Faculty of Psychology ● Faculty of Social Sciences ● Faculty of Mathematics ● Faculty of Physics ● Faculty of Chemistry ● Faculty of Earth Sciences, Geography and Astronomy ● Faculty of Life Science *留学先大学の保有する学部をすべて記載してください。		
学部/専攻	International Business Administration *留学中に所属した学部/専攻を記載してください。		

2. 週間スケジュール

① (10)月～(1)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	遊びもしくは 旅行	遊びもしくは 旅行	図書館で作業	英語の勉強	授業
午後	遊びもしくは 旅行	遊びもしくは 旅行	図書館で作業	就活（オンライン）	授業

② (2)月～(6)月

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
午前	授業	就活（オンライン）	就活（オンライン）	図書館で作業	遊びもしくは 旅行
午後	授業	就活（オンライン）	就活（オンライン）	図書館で作業	遊びもしくは 旅行

3. 履修内容

科目	UK Development Economics in Reality (BA) (Course Nr. 040278, winterterm 2024)		
履修期間	10 月～1 月	単位数	4 ECTS
授業内容／形態	発展途上国の経済を知る。プレゼンテーション		
成績	2		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	UE Chinese Calligraphy (Course Nr. 150117, winterterm 2024)		
履修期間	同上	単位数	2 ECTS
授業内容／形態	書道。座学		
成績	2		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目	VU History of East Asia (Course Nr. 150135, summerterm 2025)		
履修期間	3 月～6 月	単位数	4 ECTS
授業内容／形態	東アジアの歴史。オンライン		
成績	2		
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

科目			
履修期間		単位数	
授業内容／形態			
成績			
YCU 振替予定	科目		
	単位数		
	担当教員		

<総括>

(1) 全体的な感想

*留学生生活全体を通しての気づきや学びをまとめてください。(800 字以上)

オーストリアのウィーン大学での留学生生活を通して、私が最も強く感じたのは「異なる価値観に対して開かれた姿勢を持つことの重要性」でした。授業では多様な国籍やバックグラウンドを持つ学生と共に学ぶ機会があり、同じテーマであっても出身国や文化的背景によって意見が大きく異なることを何度も体験しました。最初はその違いに戸惑いを覚えたことが、次第に「正解は一つではない」という認識を持ち、相手の立場や経験を尊重する姿勢を身につけられたと思います。この経験は、単なる学問的な知識以上に、国際社会で生きるための大切な力となりました。

また、日常生活においても大きな学びがありました。言語面では、英語を主に使用しながらも、ドイツ語の基本的な表現を使うことで現地の人々と距離が縮まり、生活がより充実したものとなりました。買い物や役所手続きの場面で苦労することもありましたが、その都度自分で調べ、時には友人や大学のスタッフに相談することで問題を乗り越える力が鍛えられました。自立心が強まり、「まず自分でやってみる」という姿勢が自然と身についたことは、大きな財産です。

さらに、文化的な体験も数多く積むことができました。美術館や音楽ホールなど、ウィーンならではの芸術的な環境に触れることで、日々の生活が豊かになり、自分の感性を磨くことにもつながりました。特に音楽や歴史に関しては、教科書の知識が現地の体験と結びつき、より深い理解を得ることができました。これは留学という現場だからこそ得られる学びであり、机上の勉強だけでは決して得られない貴重な経験です。

総じて、留学生生活は自分自身の視野を大きく広げるものでした。言語、文化、価値観の違いに直面しながらも、それらを乗り越える過程で成長し、異なる環境の中で適応する力、柔軟性、そして多様性を受け入れる姿勢を養うことができました。この気づきと学びは、私の人生に長く影響を与え続けると確信しています。

(2) 今後の展望 *この経験を今後どのように活かしていきたいかをまとめてください。(400 字以上)

今回の留学で得た経験を、私は今後の学業や将来のキャリアに積極的に活かしていきたいと考えています。まず、異なる文化や価値観を持つ人々と協働する力は、グローバル化が進む社会において不可欠なものです。将来的に国際的なプロジェクトや企業活動に携わる際、相手の視点を理解し、柔軟に対応できることは大きな強みになると確信しています。また、留学中に培った語学力や自立心は、海外の人々と円滑にコミュニケーションを取る基盤となり、国際的な場面でも自信を持って行動する助けになるでしょう。

さらに、困難に直面したときに「自ら調べ、行動して解決する」という姿勢は、どのような環境でも通用する普遍的な力です。特に、将来は医薬品やヘルスケアの分野で国際的に活動することを志望しているため、この柔軟性と主体性を活かし、異なる文化圏の人々のニーズに寄り添える人材へと成長していきたいと考えています。留学で得た気づきと学びを、自分の将来にしっかりと結びつけていくことが、これからの目標です。

(3) 後輩へのアドバイス *留学を希望する学生にむけてのアドバイスをお願いします。(400 字以上)

これから留学を目指す学生に伝えたいのは、「完璧でなくても挑戦することの大切さ」です。現地での生活では、言語の壁や文化の違いに必ず直面します。しかし、それを恐れて行動を控えてしまうと、せっかくの機会を十分に活かせません。たとえ不完全な言葉であっても、自分の意思を伝えようとする姿勢があれば、相手は必ず理解しようとしてくれますし、そこから人間関係が広がっていきます。

また、準備の段階で「何を学びたいか」「どのような経験を得たいか」という目標を持つことも大切です。目標があることで日々の学びが具体性を帯び、モチベーションの維持にもつながります。しかし同時に、柔軟さも忘れてはいけません。予想外の出来事や困難は必ず起こりますが、それを受け入れて新しい経験に変えることで、留学生活はより豊かで実りあるものとなります。

最後に、留学は単なる学問的な研鑽の場ではなく、自分自身を成長させる絶好の機会です。挑戦を恐れず、一歩踏み出す勇気を持って臨むことで、多くの学びと出会いが待っているはずです。